



経験の豊富な
林業の専門家
前村浩史さん
から、プロの
目撃記を
紹介します

初めての林業に挑戦

森林の面積が約55%を占め、県下でも有数の林業地域とされる、朝倉市、筑前町、東峰村。それら一帯の林業を担う朝倉森林組合で、前村浩史さんが働き始めて2年になります。前村さんは、沖縄県出身。ここへ来るまでは沖縄のリハビリ専門学校で学んでいましたが、東峰村に暮らす祖母に勧められて林業の世界へ。それまで経験のなかった新たな仕事に挑んでいます。

未来に向けて 育てて、活かす、森林づくり

海山の幸に恵まれ、豊かな食文化を誇る福岡県。このコーナーでは、福岡県の農林水産業に従事する「人」と、旬の福岡の「食」、そして、それらを「支える」取り組みなどを4回にわたりお伝えしています。最終回は、林業の世界に飛び込んだ若き担い手を訪ねました。

林業で森林を守る

現在は、先輩技術者の下で、樹木の伐採作業の補助やシカによる被害を防ぐ防護ネット張りなどを行いながら、福岡県林業労働力確保支援センターが実施する「緑の雇用」事業の研修生として、勉強する日々です。この研修では、未経験者でも林業に必要な知識や技能を身に付けられるよう、きめ細かなカリキュラムが用意されています。この研修を受けることで林業に従事する技術者として必要なさまざまな資格取得も可能です。「働きながら資格を取れるのが魅力」と話す前村さんは、今日も実践を重ねながら林業を支える技術者として成長しています。

昨年7月の九州北部豪雨では、記録的な降雨により、森林の山地災害防止機能を超え、多くの林地が崩壊しましたが、防災・減災を図る上では、森林の機能を持続的に発揮させることが重要であり、間伐などの手入れを引き続き進めていくことが必要です。その意味でも、期待されるのが前村さんのような林業を支える担い手です。「日々覚えることがいっぱいですが、これからも森林を守る林業を頑張りたい」と前村さん。地元の人たちの温かいまなざしに見守られて、今日も彼は地道に森林と向き合っています。



1.倒す方向に向かって切り込みを入れる作業は、経験を積みながら覚えるしかない。ベテラン技術者に聞くと前村さんは「筋が良い」のだそう 2.狙った方向に樹木が倒れていく 3.伐採した樹木は一定の長さに切りそろえる。急斜面での作業は危険を伴うため特に慎重に行う 4.伐採した木材を運搬する重機の操作も林業に従事する技術者に必要な資格の一つ 5.樹齢40～50年くらいが木材するにはちょうど良い大きさ。年輪が均等に詰まっているものほど良質といわれる 6.7.根元の部分や半端な長さの木材は薪に加工し販売している 8.前村さんと朝倉森林組合の技術者の皆さん



支

農林水産業を
応援

水源のかん養、土砂災害の防止、生態系の保全、文化の伝承など、「食」を支えるだけでなく、さまざまな役割を持つ農林水産業。これらの役割を果たすためにも、農村や森林、漁場を守る取り組みを行っています。

健全な森林づくりを推進

各地に広がる、県民参加の森林づくり活動

県では、県民参加による森林づくり活動を支援するとともに、次世代を担う子どもたちに、森林の働きや大切さを学んでもらうため、学校への講師派遣など「森林環境教育」の取り組みを進めています。県民共有の財産である森林を守り育てるという気運は、着実に県内各地に広がっています。



中山間地域の振興

中山間地域の魅力を守る 応援サポーター



中山間応援サポーターの募集について詳しくはこちら

棚田や果樹園が広がる中山間地域を守るため、特産品の収穫や地域の伝統行事のサポートなど集落から要請のあった各種活動にボランティアとして協力する、「中山間応援サポーター」。県では、住民とともに地域を盛り上げるサポーターを広く募集しています。



漁場環境保全の推進

漁業者と住民が連携して取り組む、 漁場の環境保全

豊かな漁場を守るため、漁業者と地域住民が連携し、藻場では海藻を食害するウニの駆除、干潟では貝類の生息に影響を及ぼす貝殻の除去、海岸ではごみの回収といった取り組みが行われています。その他にも、漁業者による地元小学校と連携した環境保全学習会など、県では、これら環境保全活動を支援しています。



食

福岡の
自慢の
産物



博多なす

あくが少なく、柔らかな食感が人気

20～25センチメートル程度の中長ナスで、全国第3位の生産量を誇ります。あくが少ないのが特長で、皮が柔らかく、油との相性も抜群。和洋どんな料理にもよく合います。安全・安心なナスを消費者に届けるため、「博多なす衛生管理マニュアル」に基づき栽培されています。

温暖な気候と豊かな

自然に恵まれた福岡県は、

野菜、果物、米、肉、魚……と、

数多くの県産ブランドを持つ

全国に名だたる農林水産物の生産県。

こだわりの逸品がそろっています。

ラー麦

福岡のラーメンのために 開発されたラーメン用小麦



全国有数のラーメンどころである福岡で、ラーメンのために開発された小麦です。コシがあって歯切れがよく、ゆで伸びしにくいなど、福岡のストレートな細麺にぴったり。ラー麦の使用店舗は年々増加。福岡のラーメンに欠かせない存在となっています。



たけのこ

質、量ともに国内随一の産地

全国の生産量の約4割を占める福岡県は、11月の「早掘り出荷」から5月まで長期にわたって出荷を行う国内最大の産地です。あくが少なく、風味豊かな味が特長で、北九州(合馬地区)や八女地域など全国に誇る名産地があります。



花き

全国有数の出荷量を誇る花づくり

全国第3位の出荷量を誇る、花づくりの盛んな福岡県。栽培される花の種類も豊富で、中でも一本の茎に大きな花が一輪ついた「輪ギク」や色や形が変化に富んだ「トルコギキョウ」は県を代表する花です。



トルコギキョウ



輪ギク「雪姫」

Topics

京築のヒノキと暮らすプロジェクト「ちくらす」

幹の中心部が赤く、艶があり、強度もある京築地域のヒノキ。この「京築ヒノキ」の良さを発信しようと、平成27年度に行政や大学、家具作家、森林組合がプロジェクトチームを発足。西南女学院大学や西日本工業大学の学生による市場調査やアイデアをもとに、家具や内装、木製品などの木材利用の提案、販売を目指すとともに、情報発信を行っています。

今年4月には、イタリアで開催されるデザインの世界的祭典「ミラノデザインウィーク」にプロジェクトで商品開発した名刺入れが展示されます。



ちくらす